

学習内容報告書 フォーマット

学校名	京都市立松尾小学校
授業者	元林 伸雄

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

チョイチョイ星人がやってきた～in 松尾小学校

1-2. 学年

1～6年 育成学級

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

道徳

1-4. 単元の概要

「地球から遠く離れたチョイチョイ星に住むチョイチョイ星人は、宇宙旅行の最中に、ロケットの原動力であったチョイチョイボールを地球の海に落としてしまいました。チョイチョイ星人は無事に海中からチョイチョイボールを見つけることができるのでしょうか？」というところから始まるお芝居の続きをプロの俳優、演出家と一緒にクラスで話し合いながら、自分たちで物語をつくり、演じるという体験をしてもらう。台本がある程度決まった後は児童たち自身に海中の生き物を演じてもらったり、また実際には存在しない架空の海中生物なども想像してもらったりして、演じてもらう事でより身近にかんじてもらう。魚の好きな食べ物や、普段している遊び、困っている事などを想像し、自分の口で喋ってもらい実際に行く事は中々かなわない深海なども劇中に行くことによって、本や映像、又は自然体験でも得られない体験もしてもらう。それをお芝居にしてお客さんに発表することにより、児童たちが海について学んだこと、感動や興味を他人に伝えることができる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

劇中で自分が演じるという当事者意識の中で登場人物（海中生物）について学んだり、小道具や衣装を考える際に特徴などもつかめたりといった事を遊びの中で自然と楽しく学ぶことができる。また、その学習にはわかりやすく海の事を全く知らない宇宙人に教えてあげるといった目的が設定されており、学んだ事を他人に教えて伝えるという経緯により学習が定着しやすい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

育成学級の児童に海の素晴らしさや不思議さに感動してもらい、海や魚、植物に興味を持ち、大切にすることを育てたい。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	劇の始めの部分を劇団の方に見せてもらい、自分がやりたい役を考えて、決める。	子どもたちは、俳優の方たちの迫力あるお芝居を楽しんでみていた。それによって、そのお芝居に自分も出るという流れに難なく入れた。
2	自分の役の出番を知り、セリフや動きを練習する。	子どもの特性によって、セリフや動き、役柄などを劇団の方に決めていただき、子どもたちは、演じることに抵抗感なく活動できた。
3	劇を一通り、練習した後、小道具を着けて本番の撮影をする。	小道具を着けると、さらに意欲が高まり、早くやってみたいという反応を示していた。実際の劇は、滞ることなく、自分の順番を待って、集中力が途切れずに最後まで学習に取り組むことができた。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

劇団の方にお芝居を見せてもらい、自分のやりたい役を考えて決めることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 劇の始まりの部分を劇団の方に演じてもらい、劇の内容を知る。</p> <p>子どもたちは、衣装を着けた俳優さんの迫力ある演技を見せてもらい、お話の世界に引き込まれていた。</p>	
<p>2 海の世界にどのような生き物がいるかを考える。</p> <p>へび、かめ、たい、ふぐ、いかなど海にいる生き物をみんなで出し合った。海の生き物でない生き物であっても、子どもたちが発表したものは、全部黒板に書いて受け止めてもらえた。</p>	海にいる生き物を自分で考えて発表することができる。（発表）
<p>3 黒板にかいてある生き物の中から、自分がやりたい役を決める。</p> <p>どの役でもやっていい前提で、役決めをしたので、みんな自分のやりたい役を発表することができた。</p>	やりたい役を発表したり、役を紹介してもらって手を挙げたり、うなずいたりして、自分の役を決めることができる。（発表、返事）

3. 今回の活動の自己評価

衣装を着けて演じてもらったり、音響の効果で盛り上げてくださったりして、子どもたちは劇を楽しいものとして受け止められた。違うものになりきって演じる楽しさを、プロの俳優さんに見せてもらったことは非常に有意義なものであった。子どもたちは、それによって自分もその世界に入ろうとする意欲が持てたと考えられる。劇の導入を楽しく見せて、意欲付けするという手法は、学校教育の普段の学習場面でも非常に大事な要素で、どの授業でも大切にしていきたいと改めて感じられた。

4. 今後の課題

演じることの楽しさを感じているものの、演じ方が分からなかったり、人に見せることを恥ずかしいと感じていたりする児童のために、どのような支援が必要なのかを考えないといけないと思った。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。